

● 北海道新聞 1月24日付 石狩版 朝刊

活動名 平成28年度子どもゆめ基金助成活動 『地域除雪奉仕プログラム9』

主催 石狩中央ソーシャルネットワーク研究会 会長 竹口 尊

活動日 平成29年1月21日(土)

激寒の中、朝早くより、取材ありがとうございました。

北海道新聞 2017年(平成29年)1月24日(火曜日)

高齢者宅きれいに除雪

石狩翔陽高野球部が奉仕

【石狩】石狩翔陽高の野球部員29人が21日、花川北の「北6条町内会」の1人暮らしの高齢者宅の除雪ボランティアを行った。

花川北地区の住民でつくる「石狩中央ソーシャルネットワーク研究会」(竹口尊会長)の呼び掛けで実施した。

北6条町内会では、1人暮らしの高齢者宅の除雪は普段、町内会員のボランティア14人が、市の「ふれあい雪かき運動」の助成事業を活用して取り組んでいる。ただ、ボランティア自身のほとんどが70代と高齢化しており、玄関から道路までの除雪で精いっぱい、軒下まで手が回らないのが実態だ。除雪してもらっても、軒下に積もった雪で室内に日が入らなくなる

ことがあることから、高年生の力を借りて軒下などの除雪も行っことにした。

当日は、会員ボランティア14人と野球部員29人が9班に分かれて、対象の9世帯宅を2時間かけて除雪した。除雪をしてもらった長谷川美紀子さん(75)は「雪で石油タンクまで行くことができず、困っていた。本

当に助かります」。野球部キャプテンの2年生吉田海渡さん(17)は「地域から応援されてこそ強いチームになれる。地域に貢献できてうれしい」と話していた。

(成田智加)



地域住民と一緒に1人暮らしの高齢者宅の除雪をする石狩翔陽高の野球部員たち